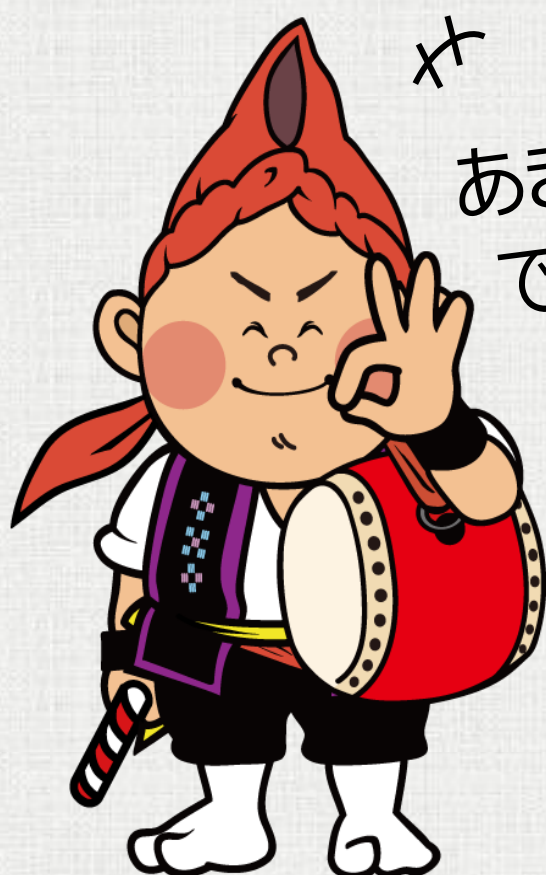


令和2年度

でーじわかりやすい！ よさんのはなし



✕
あきさみよー！
でえーじ
わかり
やすいやつさ～！
✕

エイ坊
(沖縄市エイサーキャラクター)

令和2年9月

沖縄市

でーじわかりやすい！よさんのはなし

も く じ

1. 「よさん」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **1**
2. 一般会計のはなし【収入編】・・・・・・・・・・・・ **3**
3. 一般会計のはなし【支出編】・・・・・・・・・・・・ **5**
4. 特別会計のはなし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **7**
5. 今年のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **8**
6. よさんが分かった♪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **24**

1. 「よさん」って何??

エイサーのまち宣言

日直さーちゃん

6月13日 木

「よさん」って何のことかわかるかのお？
漢字で書くと「予算」。少し難しいイメージもあるし、
自分には関係ないと思うだろう？
しかしこの「予算」というものは、わしらの生活にと
ても身近なもので大事なもののじゃ。
だから、少し「予算」について勉強をしてみよう。



エイ坊



さなじい

Question!!



で、「予算」って何なの？



「予算」とは、1年間の「収入」（入ってくるお金のこと）と
「支出」（使うお金のこと）を計画してまとめたものじゃ。

みんなの生活を豊かにするために、市役所が色々な仕事を行うた
めには、1年間でどれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金が
使えるかを、しっかりと計画しないといけないのじゃ。



「予算」はどうやって決めるの？



市役所の担当者が、市民みんなの意見や提案などを聴いた上で、
市長と一緒に話し合いながら、1年間に行う市民への行政サービス
をしっかりと考えて、そのサービスに必要な予算の案を作るのじゃ。

そうして出来上がった予算案を、市長が「沖縄市議会」に提案
し、市議会議員のみなさんしっかりと話し合いを行って、そこで
認められれば正式な予算として決まるのじゃ。

市長も市議会議員も、選挙によって選ばれた人たちなので、市民
の代表者が、沖縄市の「予算」を決めているということじゃな。

Question!!



沖縄市の「予算」はいくらなの？



今年の沖縄市の予算額は次のとおりじゃ。（令和2年度）

① 一般会計予算	797億5200万円
② 特別会計予算	355億9607万円
合 計 額	1153億4807万円



「一般会計」と「特別会計」って？



沖縄市の「予算」には、「一般会計」と「特別会計」の2種類の予算があるのじゃな。

少し難しくなるが、それぞれの説明は次のとおりじゃ。

- ◎一般会計 → 福祉や教育、道路の整備など、市役所の基本的なサービスを行うための予算
- ◎特別会計 → 特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算（詳しくは7ページ）



ここまで「予算」について、いろいろ勉強してきたが、まだまだ分からないことがたくさんあるじゃろう。

次のページからは、「一般会計」の予算の内容について、もう少し詳しく勉強してみよう！！

少しずつ
わかってきたやっさ～



2. 一般会計のはなし

【収入編】

市の収入について



まずはじめに、沖縄市の収入について勉強してみよう。



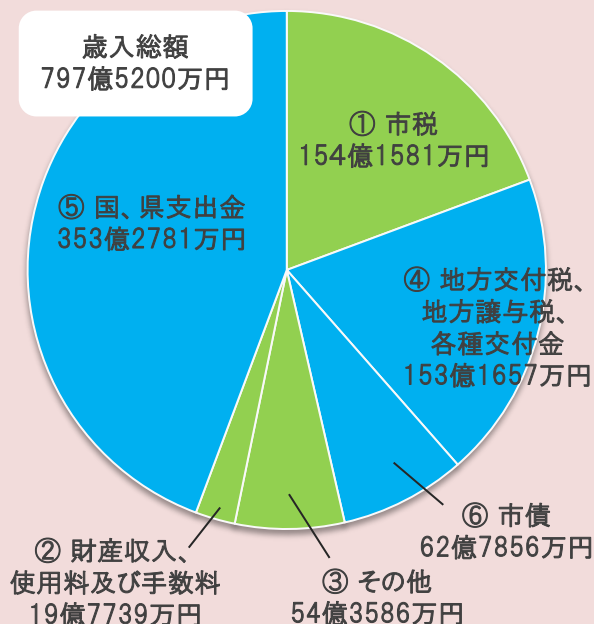
収入ってなんだったっけ？



収入とは、入ってくるお金のことじゃ。そして、1年間に入ってくるお金をまとめたものを「歳入予算」というのじゃ。

それでは、今年の一般会計の歳入予算をみてみよう。

令和2年度 一般会計歳入予算



歳入の各項目の説明

自主財源	①市税	市民が沖縄市に収める税金です。
	②財産収入、使用料及び手数料	市の土地等を貸した際の賃料や、市の施設の利用料、証明書を発行する際にいただいたお金などです。
	③その他	市の貯金（基金）からの取り崩しや、寄付金などです。
依存財源	④地方交付税、地方譲与税、各種交付金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。使いみちは市で決めることができます。
	⑤国、県支出金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。国や県からの支援であり使いみちが決まっています。
	⑥市債	国や民間の金融機関などから借り入れるお金です。

これが、沖縄市の1年間の歳入じゃ。1年間で797億円余りのお金が入ってきているのじゃな。ちなみに、自主財源とは、沖縄市が自力で調達できるお金で、依存財源は沖縄市以外の組織に頼っているお金のことじゃな。



沖縄市にはたくさんの収入があって、僕らの税金や、僕らが沖縄市の施設を使った時の利用料金以外にも、国や県からもらえるお金や、国や銀行からの借金などがあるんだね！少し難しかったけど、よ～く分かったよ♪

借金（市債）について



ところでさあ、さっきの歳入予算の中で、国や銀行などからお金を借りている「市債」ってあったけど、これって「借金」のことかなあ？



まあ、そういうことじゃな。



でも、借金しちゃって大丈夫なの！？



学校などの大きな建物を作る時には、たくさんのお金が必要になるのじゃ。

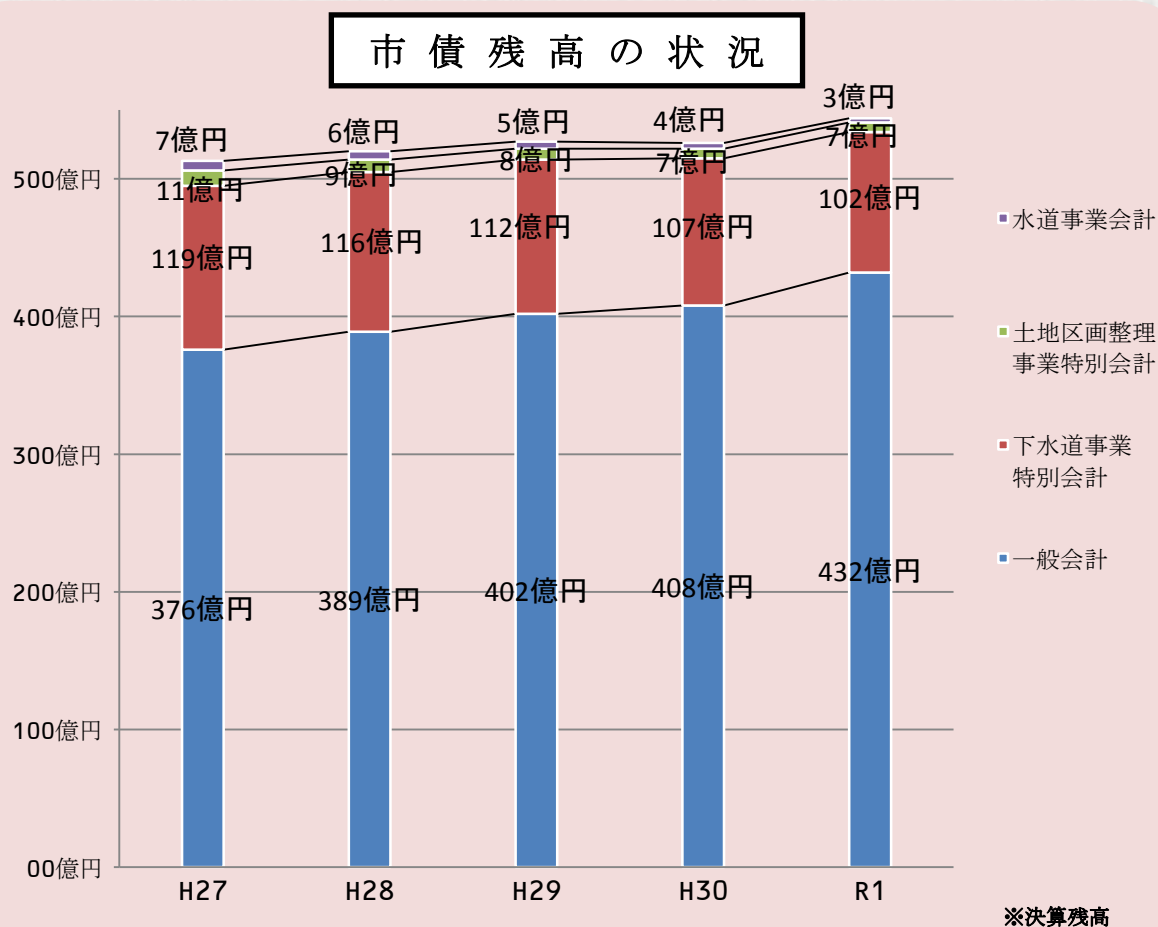
建物を作る年に、1年間に入ってくるお金から、1年間に行う仕事に使うお金を除くと、どうしても足りないことがあるのじゃ。そのような時に、借金をしてお金を準備しているのじゃ。

その他にも理由があって、学校などの大きな建物は何十年もの長い間みんなでするものだから、今使う人だけじゃなくて、これからあと使う人も含めてみんなで平等にお金を負担してもらうために、借金をしているのじゃ。

借りたお金は、これまた何十年という期間をかけて返していくのじゃ。



なるほど！借金をするのはちゃんとした理由があるんだね！納得したよ♪



3. 一般会計のはなし

【支出編】

市の支出について（目的別）



収入の次は「支出」の勉強かな？でていくお金だよな？

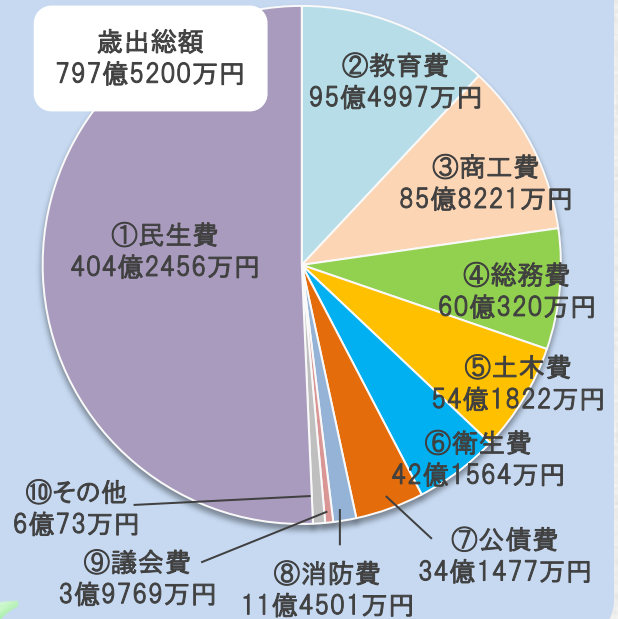


そのとおりじゃよ。そして、1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。

また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。

まずは、お金を使う目的ごとに分けている「目的別」の歳出予算をみてみよう！

令和2年度 一般会計歳出予算（目的別）



歳出（目的別）の各項目の説明

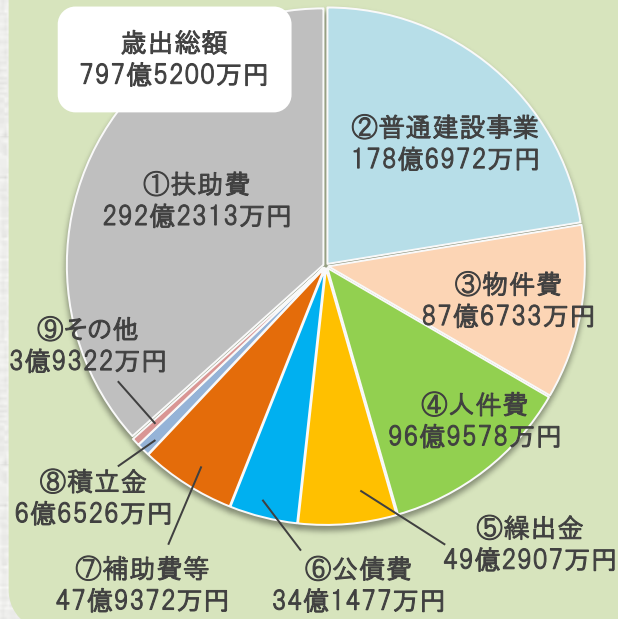
①民生費	子どもや高齢者、障がい者などが安心した生活を送るために使うお金です。
②教育費	学校の教育や図書館・博物館の運営、スポーツの振興などに使うお金です。
③商工費	商店街や企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
④総務費	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営するためのお金です。
⑤土木費	道路や公園、市営住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
⑥衛生費	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑦公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑧消防費	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守るために使うお金です。
⑨議会費	議会を開催したり、議員のみなさんの給料を払ったりするお金です。
⑩その他	他にも「農林水産費（農業や漁業などの支援）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧するための費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。その中でも、子どもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

令和2年度 一般会計歳出予算（性質別）



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？
なんだか分かりにくいなあ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金などお金の使いみちが同じ性質のものがある。そのような見方でお金を分けたものが「性質別」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明

①扶助費	医療や福祉など、生活を助けるための支援にかかるお金です。
②普通建設事業	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
③物件費	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
④人件費	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
⑤繰出金	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑥公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑦補助費等	他の団体への補助金や負担金などにかかるお金です。
⑧積立金	特定の目的のためにある市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑨その他	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要となったことにかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているのか、どのようなことに力を注いでいるのかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民のために行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪

4. 特別会計のはなし

特別会計の種類と今年の予算額について



さて、次は「特別会計」のはなしじゃ。



特別会計ってのは確か...「特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算」だったよね。何で分けて管理するの？



分けて管理する理由を簡単に言うと、その特定の仕事をする時に、他の仕事に使うお金とは分けて管理した方が分かりやすかったり、仕事の責任が明確になるからじゃ。

沖縄市が特別会計として管理している予算は次のとおりじゃ。

土地区画整理事業特別会計

予算額：3億2045万円

美里第二地区の土地区画整理事業（道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業）を行うための会計

国民健康保険事業特別会計

予算額：153億7848万円

国民健康保険制度（国民を対象として、病気や怪我、出産、死亡に関して、必要な保険料が給付される制度）を運営するための会計

介護保険事業特別会計

予算額：98億2332万円

介護保険制度（介護が必要な高齢者などの生活の支援や、介護にかかる費用を社会全体で支える制度）を運営するための会計

後期高齢者医療事業特別会計

予算額：14億2788万円

後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者などの医療費を社会全体で支える制度）を運営するための会計

下水道事業会計

予算額：43億5624万円

公共下水道の整備や管理など、下水道に関する仕事を行うための会計

水道事業会計

予算額：42億8970万円

沖縄市水道局が行う水道に関する仕事を行うための会計

特別会計も
わかった！



5. 今年のまちづくり

沖縄市のまちづくりについて

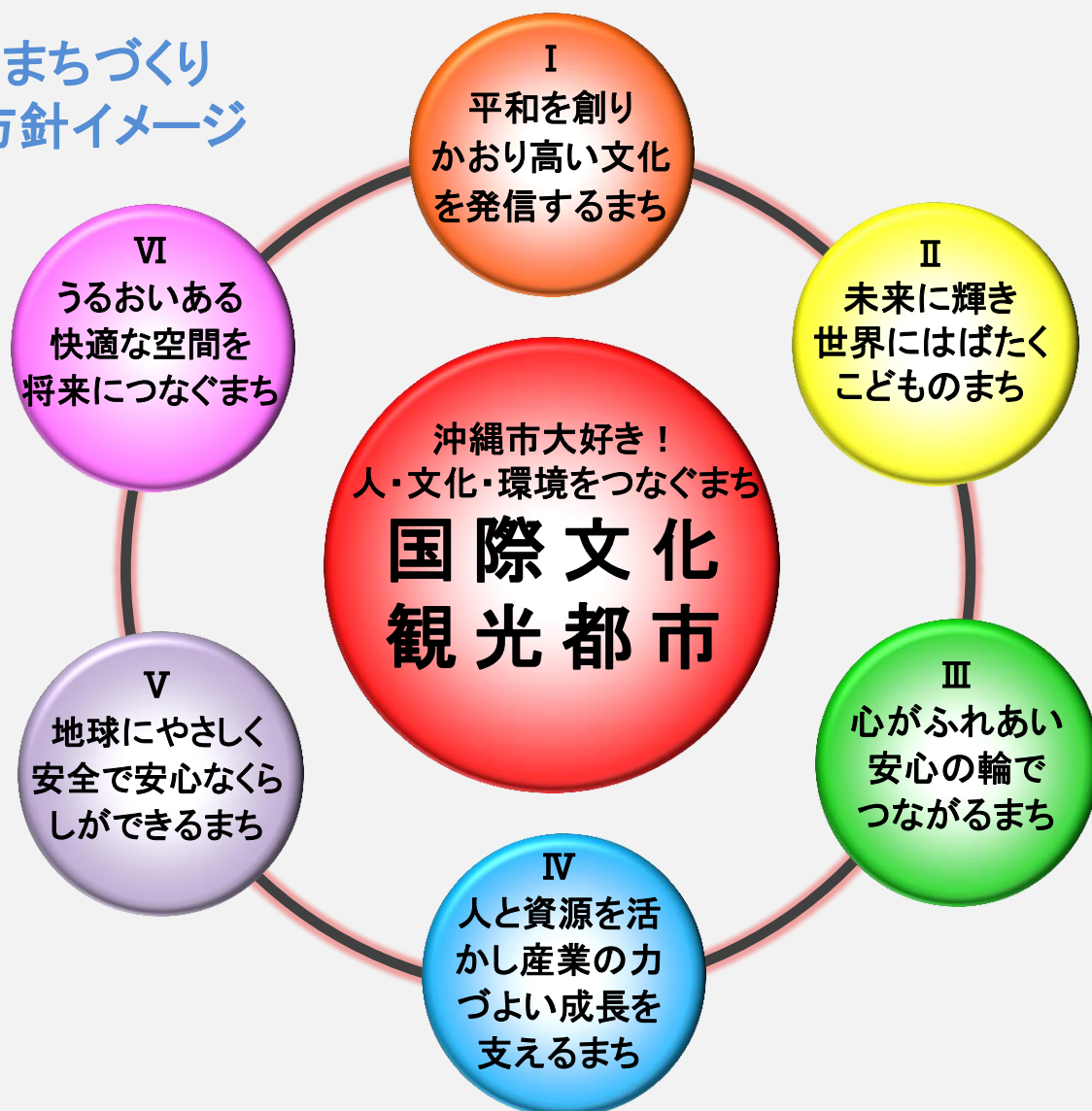


それじゃあ、これまで勉強した沖縄市の予算がどのような事に使われるのか、具体的な例を見るとしよう。沖縄市では「国際文化観光都市」を宣言していて、「健康で美しい沖縄市」、「明るくて住みよい沖縄市」、「平和で豊かな沖縄市」を市民の願い、望み、そして目標としているのじゃよ。



そうなんだ！なんだか、夢や希望が湧いてくるようまちづくりをめざしているんだね！ますます沖縄市が大好きになりそうだよ♪

まちづくり 方針イメージ



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

戦後文化資料等展示事業（予算額：約3523万円）

沖縄市は個性的な戦後史を歩み、ユニークな歴史文化を育んできました。この歴史文化をまちづくりに活かそうと、「沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート（以下、ヒストリート）」をパルミラ通りからコザ・ゲート通りへ移転しています。ヒストリートでは、戦後沖縄市の歩みを紹介した常設展と企画展（年に数回）を開催しています。戦後情報誌「KOZA BUNKA BOX」やヒストリエットのガイドブック、Webヒストリート、リーフレットの多言語化により沖縄市の戦後歴史文化情報を発信し、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、国内外の観光客等を中心市街地に誘客し、活性化を図ります。



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

文化芸能推進事業 (予算額：約2551万円)

文化芸能にふれる機会を市民に提供することにより、個性豊かな市民文化を高めるための事業です。

文化芸能に対する関心や理解を深め、地域の文化振興を図るため、個性豊かな芸能などを紹介する「(仮称)文化芸術祭」などのイベントを開催します。

また、市民が企画・運営する舞台講演などの文化芸能活動を支援しています。



図書館機能充実事業 (予算額：約3157万円)

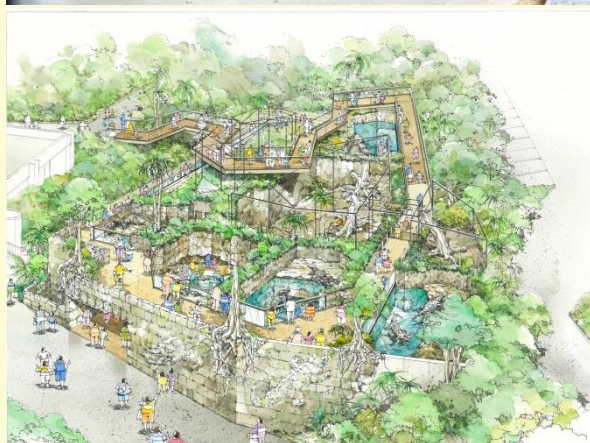
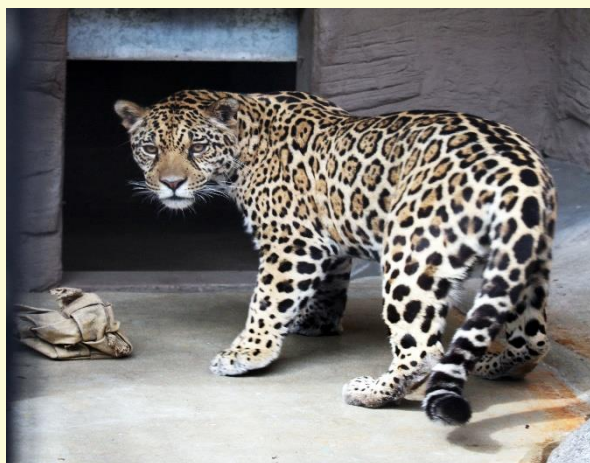
沖縄市立図書館では、資料の充実を図り、生涯学習や交流の場として利用しやすい図書館づくりを進めています。また、中心市街地に立地しているという特性を活かし、地域商店街のにぎわいの創出に寄与するよう努めています。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

沖縄こどもの国整備事業（予算額：約13億6480万円）

沖縄県内で唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を拡張、動物に関することや自然科学などを楽しみながら学べる施設を整備することで、県外や国外からも多くの観光客を誘客できるような、日本一ユニークな施設にしていきます。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

こどもの居場所支援事業（子供の貧困対策）

（予算額：約1億3534万円）

こどもを対象とした食事支援、学習支援等を行うこどもの居場所の運営を支援し、放課後のこども達の居場所づくりを進めていきます。また、こども達への支援が速やかに行き届くよう、支援員によるマッチングを図っていきます。



若年妊産婦の居場所事業（予算額：約3126万円）

18歳以下の妊産婦とその子を対象に、妊娠・出産・育児に関する相談・指導や食事の提供等を行います。若年の妊産婦が家庭や社会から孤立することなく、安全・安心な居場所で産前・産後が過ごせるようにし、自立に向けた仕事の相談なども行います。居場所では、助産師、保育士、栄養士、社会福祉士が相談・支援にあたります。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

学力向上推進事業（予算額：約9040万円）

「夢や希望の実現に向かって歩み続ける
幼児児童生徒の育成」をテーマに、わかる
授業の充実をめざして指導方法の改善に取り
組み、確かな学力の定着と教職員の指導
力向上を支援する事業です。

主に、各種支援員の配置や学力調査の実施、
研究、英検等検定料の補助を行っています。



第2調理場改築事業（予算額：約3億30万円）

市北部の小中学校に学校給食を提供している第2調理場は、
昭和55年から使われていますが、調理場は狭く、建物や器具
は古くなっています。

第2調理場を新しく建て替えし、より安全安心な学校給食を
提供するとともに、公立幼稚園への給食提供や、食物アレルギー
対応等のサービス向上を図ります。

令和2年度は土地購入後、
外構工事や建築工事を進めて
いき、令和3年度中の完成を
予定しています。

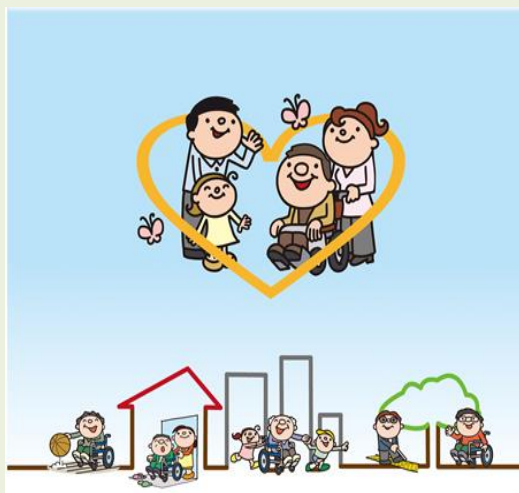


Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

地域生活支援事業（予算額：約3億3747万円）

障がいの有無に関わらず、自立した日常生活または社会生活を送ることができる地域社会の実現をめざしています。

また、福祉の増進を図るため、地域の特性や利用者の状況に応じて、相談支援、意思疎通支援、日常生活用具の給付、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援、訪問入浴サービス、重度障害者等入院時コミュニケーション支援、居住サポートなどの事業を計画的に実施しています。



就労等支援事業（予算額：約2998万円）

お仕事を探している方へ、相談や職場体験等で支援し、お仕事をされている方に対しては、お仕事が続けられるよう支援を行います。

また、講座や体験イベント等を開催し、若者の働く意識を高めるとともに、子育てをしている方への支援として、託児室を開設しています。



Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

生活困窮者自立支援事業（予算額：約9704万円）

『自立相談支援』：生活保護に至る前の生活困窮者に対して、相談窓口を設置して本人が抱える課題を受け止め、包括的な支援計画を作成し、自立までの継続的な支援を行います。

また、複合的な問題を抱える生活困窮者を早期に把握するために関係機関のネットワークづくりを行っています。



『住居確保給付金』：離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にある方で、住宅を失った又はそのおそれがある生活困窮者であって、所得等が一定水準以下の者に対して、住居確保の給付金（家賃）を有期で支給します。

『一時生活支援』：沖縄市を現在地とする住居を持たない生活困窮者を対象に、一時的に安全な居場所を確保し、安定した生活を取り戻すために必要な支援を行います。また、居住に困難を抱え、地域社会から孤立している生活困窮者を対象とし、一定期間、訪問等による見守りや生活支援を行います。

『就労準備支援』：沖縄市内の被保護世帯もしくは生活困窮者で、すぐに仕事に就けない方に対して就労セミナー等を行い、自立に向けた支援を行います。



『学習支援事業』：沖縄市内の被保護世帯のこども、並びに準要保護者のひとり親世帯のこどもに対し、高校進学に向けた学習支援を行います。

Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

健康づくり推進事業

(予算額：約908万円)

「みんなでいきいき健やかに暮らせる社会」をめざし、介護を受けたり寝たきりになったりせず元気に日常生活を送れる期間を延ばすことを目標に、生活習慣病を予防するための健康づくりを支援しています。健診を受ける、ウォーキングをする等で健康ポイントを貯め特典へ応募する、スマートフォンを活用した「おきはくん健康ポイント事業」を実施しています。

また、多くの市民へ体や心に関する健康づくりの大切さを伝える講演会、市内37か所の全自治会で実施する健康づくりとして、医師による健康講話、ウォーキング、体操、ヘルシーメニューの調理実習などを行っています。

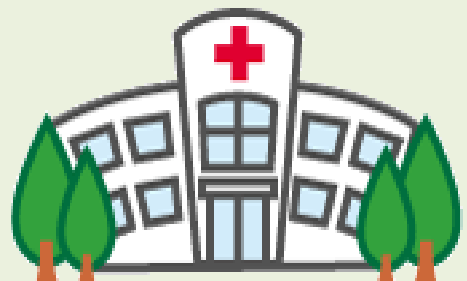


予防接種事業

(予算額：約1億4296万円)

国が定める高齢者の予防接種を実施することで、接種者数の増加に取り組み、感染症による重症患者と死亡リスクの軽減を図るとともに、医療費の負担軽減を図ります。

また、麻しん・風しんの予防接種を受けていないこども達に接種する機会を与え、感染症のまん延防止及び感染による合併症のリスクの軽減を図ります。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

沖縄アリーナ整備事業（予算額：約66億53万円）

琉球ゴールデンキングスのホームゲームやコンサートなど、これまで沖縄で見る事が出来なかったイベントが開催される県内最大、一万人規模のアリーナについて、令和2年度完成を目指し、建設を進めています。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

(仮称) 沖縄サーキット整備事業

(予算額：約6億3836万円)

モータースポーツを沖縄市の新たな観光資源とするため、サーキット整備に向けた取り組みを行っていきます。

モータースポーツの楽しさを多くの人に知ってもらうため、「コザモータースポーツフェスティバル」の開催を支援するとともに、様々なモータースポーツを行うことができる
(仮称) モータースポーツ多目的広場の整備を進めています。



エイサー会館事業 (予算額：約3950万円)

エイサー会館では、エイサーに関する歴史や団体の紹介、道具や衣装の展示、楽器や演舞の体験、道じゅねーや沖縄全島エイサーまつりの映像の放映などを行い、一年を通してエイサーの魅力を発信しています。



Ⅳ 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

F I B Aバスケットボールワールドカップ2023機運醸成事業 (予算額：約612万円)

皆さん、2023年に、沖縄アリーナでF I B Aバスケットボールワールドカップが開催されることを、ご存知でしょうか？

F I B Aバスケットボールワールドカップは、4年に1度、F I B A（国際バスケットボール連盟）が主催する世界最大のバスケットボールのワールドカップです。F I B A加盟国は、世界約213の国や地域が加盟し、F I F A（国際サッカー連盟）の211協会を超える数字です。

そのF I B Aバスケットボールワールドカップが、2023年8月25日から沖縄市で開催され、10日間の熱戦が繰り広げられます。

本事業は、ワールドカップを盛り上げるために、1000日前イベントの開催やまちなかのバナー等を作成する事業となっています。

ぜひ、皆さんで、ワールドカップを盛り上げていきましょう！



観光宣伝事業（予算額：約1億674万円）

国内外から多くの観光客の皆さんに来てもらえるように、「KOZAWEB（観光サイト）」、「沖縄市GO（情報誌）」、そして、人気情報番組の「コザの裏側（TV，YouTube）」で、沖縄市＝"コザ"の魅力をPRするほか、無料のKOZAWi-Fiの運営や、観光ガイドの養成、修学旅行等の団体旅行の受入れ、観光統計調査等の取り組みを行う事業となっています。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

商店街等店舗改修工事支援事業（予算額：約3000万円）

商店街等の空き店舗への新規出店や既存店舗のリフォーム等に対し補助金を支援することで、空き店舗の解消と魅力的な商業空間を創ることにより、商業環境の向上および商店街等の活性化、中心市街地の賑わい創出を図ることを目的としています。



創業・起業総合支援事業（予算額：約3970万円）

新しくビジネスを始めたい方のために、沖縄市一番街商店街の中にある「Startup Lab Lagoon（スタートアップラボラグーン）」で、ビジネスの内容や方法、必要なお金の集め方などについての相談・アドバイスを行います。

また、コンピュータやインターネットを使ったお仕事が出来るようになるための勉強や、3Dプリンタやレーザーカッターなどを使った新しいものづくりも体験できます。



V 地球にやさしく安全で安心なくらしができるまち

地域防災対策事業（予算額：約1億630万円）

あらゆる災害から市民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくりを推進します。

地震や津波などの災害に備え、災害用備蓄品（食糧、飲料水等）の整備、沖縄市防災マップを更新致します。

また、地域防災力強化と防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の結成及び育成を推進し、防災資機材の整備を行います。



保安灯設置事業（予算額：約4682万円）

夜間における市民の安全を確保し、防犯環境づくりを推進するため、保安灯を設置しています。

また、老朽化した水銀灯を電気料金の安いLED灯に取り替えることにより、保安灯電気料金を負担している自治会の負担軽減を図っています。



VI うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

公共交通活性化推進事業（予算額：約1億2211万円）

路線バスは、市民生活の足として重要な役割を担っていますが、自家用車普及などにより、バス利用者が減少し、路線の廃止や便数が減るなど、ますますバスが利用しにくい状況になりつつあります。

本事業では、バス事業者や関係機関等と連携を図りながら、路線バスの利用者を増やすための取り組みを行うとともに、沖縄市循環バスと称して市内のコミュニティバスを運行しており、市民の生活利便性の向上を図っていきます。

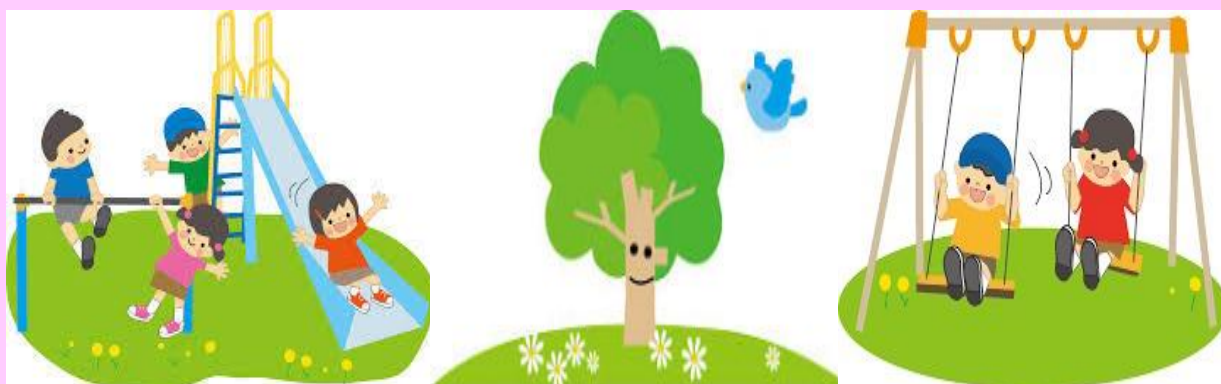


VI うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

公園整備事業（予算額：約1億2133万円）

公園は、市民の憩いの場だけではなく、自然との触れ合いや自然環境の保全、地震などの災害時における避難場所としての役割があります。そのため、安全・安心で快適にすごせるまちづくりを目指した公園整備をおこなっています。

令和2年度は、比屋根公園の実施設計業務を行います。



東部海浜地区開発事業（予算額：約4130万円）

スポーツコンベンション拠点の形成に取り組むとともに、県内最大級のビーチを活かしたビーチフロント観光拠点の創出を目指します。また、PRイベントによる事業周知を図っていきます。

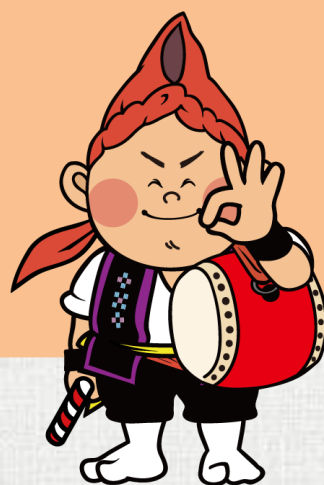


6. よさんが分かった♪

ここまで来れば君も予算が分かった！よね？
難しくて、ややこしそうな「予算」だけど、
中身をのぞいてみると、とっても大事なものの
なんだってことが分かったはず。

市民のみんなから預かったお金が「予算」に
なって、学校や道路、公園を作ったり、家から
毎日出るごみを集めたり、災害や火災から守っ
ているんだ。

だから、これからも自分たちが負担したお金
が、何に使われているのかをちゃんと知って、
これから自分たちが何に使いたいの
かをみんなで決めていこう！そして、
自分たちの住むまちを、もっと便利で
安全な住みやすいまちにしていこう♪



でーじわかりやすい！ よさんのはなし

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>